

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 少年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号 A-C

ハンドボール

NO.53

年月日 2023 年 10 月 8 日 (日)
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

公 式 記 録 用 紙

A		北海道										山梨県										B	
都道府県 鹿児島県		市町村 霧島市		会場 霧島市国分体育館										会場 山梨県		試合 回数							
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 シフト	A	B									
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数												
	0/0	1	2	後	3	1	2	3	2/4														
		0940	2013			0805																	
No.	北海道					G	W	2'	2'	D	DR	No.	山梨県					G	W	2'	2'	D	DR
1	小林 優李香											1	秋山 ひより										
2	伊藤 きある					.6	1	1				2	三森 美菜子					5					
3	天野 美空											3	田村 日和梨					8					
4	加藤 璃子					1						4	佐野 七瀬									1	
5	川口 愛素美					2		1				5	矢澤 一花					3					
6	中井 実結愛					1		1	1			6	谷沢 唯舞妃					1					
7	浅妻 幸乃											7	佐藤 姫花					5					
8	遠藤 花音											8	古屋 芽衣					5					
9	新家 悠月											9	井戸 柚季										
10 C	杉尾 望					1						10	掛本 莉沙					2					
11	門馬 一葉											11	中尾 心愛										
12	木下 由梨											12	岩下 真秀										
監督A	亀山 耕司											監督A	平塚 亮介										
役員B	合田 享弘											役員B	高村 幸										
役員C	山本 千尋											役員C	大村 美雪										
役員D	田村 萌唯																						

A 亀山 耕司 チーム役員A署名 平塚 亮介 B

特記事項

レフェリー	佐藤 悠平	野田 巨樹	佐藤 悠平 野田 巨樹
TD	河野 真育		河野 真育
MO	児玉 浩三郎		児玉 浩三郎

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日 (日)	試合番号	A-c	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	霧島市 国分 体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
北海道			山梨		
得点合計	小計		小計	得点合計	
11	7	前半	14	29	
	4	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評			
<p>北海道が、速攻から⑤川口のシュートで先制し、②伊藤のポストシュートを決めて序盤の主導権を握った。一方の山梨は、②三森の速攻で2点を返して同点とすると、北海道の高めのディフェンスに守られながらも、⑧古屋や③田村の速攻による連続得点で逆転し、3点をリードする。北海道は⑥中井と⑤川口が連続して2分間退場となるも、攻守にわたって粘り強さを見せ、点差を開かせない。しかし16分過ぎ、山梨は⑦佐藤②三森のミドルシュート、③田村のサイドシュートを決め、徐々に点差を広げていく。25分に山梨から退場者が出て、北海道は数的有利な状況となるが、山梨の必死のディフェンスの前にゴールが遠い。北海道は前半終了間際、⑩杉尾のカットインで得点するも、着実に得点を重ねた山梨が14対7でリードして前半を折り返した。</p> <p>後半開始直後、山梨は③田村、北海道は②伊藤がそれぞれサイドシュートで得点するも、北海道のGK①小林のファインセーブもあり、その後お互いに得点が入らない展開となる。膠着状態を破ったのは、山梨の⑩掛本のサイドシュートであった。続けて②三森が速攻で得点し9点差とすると、北海道はタイムアウトを要求。しかし、北海道は直後に②伊藤の2分間退場もあって、なかなか試合の流れを掴めない。山梨は、⑦佐藤のミドルシュートによる連続得点や⑧古屋のサイドシュート、③田村の速攻などで得点し、さらに点差を広げていく。劣勢を強いられる北海道だったが、④加藤のサイドシュートや⑩杉尾の多彩なパスワークにより決して攻撃の手を緩めず、得点を狙い続ける。⑤川口がサイドシュートを決めるも反撃は及ばず、堅守と速攻により終始ゲームをリードした山梨に軍配が上がった。</p>			
	記載者氏名	廣森 健太郎	
	送信日時	10月 8日 (日) 16:30	